



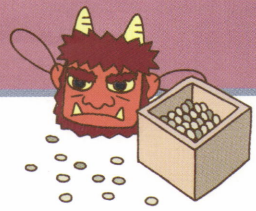
院長
真崎 雅和

Dr.米谷&真崎のレレー講座

患話休題

かんわきゆうだい

25



感染症豆知識〈1〉

私たちが鼻水が出たりのが痛くなったり、あるいは下痢をしたりするのは当然その原因があるわけで、その原因をおおざっぱに分けると、感染性のものかそうでないかになります。感染性とはウイルスや細菌によるもので、一般的には熱が出たり体がだるくなったりして体全体の活力も奪われます。非感染性のものではアレルギーの場合とそうでない場合に分けられますが、感染とアレルギーは根本的には深い関係があり、事実が解明されるほどクリアな境界を引くことはできなくなっています。

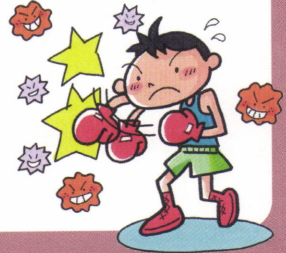
細菌とウイルスの違いは、これまたおおざっぱに言えば光学的顕微鏡で区別できるのが細菌で、電子顕微鏡レベルで分けるのがウイルスです。細菌は生物の構成要素の根本である細胞であり、ウイルスは遺伝情報(DNA, RNA)を包んだ粒子です。細菌は自分自身で増殖し毒素を産生(細胞で物質が合成生成されること)してヒトの体に害を及ぼします。ウイルスはヒトのある種の細胞に入り込んで自分の遺伝情報を埋め込むことにより本来持つ働きを変化させて体に影響を与えます。この情報変化に機敏に反応するのが免疫系で、ウイルスを排除しようとする力が強過ぎるとアレルギーを起こします。ですからウイルス感染の症状は本来の細胞機能の変容によるものと免疫応答(アレルギー)によるものが混在していることになります。

細菌感染かウイルス感染かを診断する方法はどうでしょうか。

細菌感染は一般的

には感染部位から細菌を採取し、種類の異なる培地で培養し増殖したものを顕微鏡で調べます。つまり増殖する培地の違いや形態から区別されます。また細菌そのものも持っている抗原(免疫系が自分でない)と認識できる蛋白構造、逆に言えば細菌が自己を示す名札)をもっていますから、その抗原を調べる方法、抗原を免疫系が認識すると、それに結合して封じ込める抗体を産生します。その抗体を調べる方法などがあります。

ウイルスの場合、ヒトの細胞に潜り込むとヒトの細胞はいち早く侵入されたことを示すシグナルとしての抗原を自分の細胞表面に提示するため、細菌の場合と同様に抗原や抗体を調べることによって診断が可能です。ただし抗体が上昇するのに数週間かかるため、早期の診断には抗原検査が有利です。最近では臨床の場で迅速診断キット(主に抗原検査)ができ、不確定ながら即座に診断できるようになりました。有名なものにインフルエンザ、アデノ、R、S、最近ではノロウイルスの迅速診断キットがあります。細菌でもロウレン菌、肺炎球菌のキットもありますが、これに頼るのに問題がないわけではありませんがそれはまた次回。



診察時間が近づいたことをお知らせする

約30分前
メールサービスを

ご利用ください。
ご希望の方はメルアドを受けへ!!



急患随時受付

診療時間	月	火	水	木	金	土	日祝
午前 8:30~12:00	○	○	○	○	○	○	休診
午後 3:00~6:30	○	○	○	休診	○	△ 3:00~4:00	休診

真崎耳鼻咽喉科医院

TEL.018-845-0234 FAX.018-847-1321 秋田市土崎港中央6-8-3